

静岡EAST・MAX、初の全国優勝！！

第2回春季全日本小学生女子ソフトボール大会

3月28日、30日の3日間に亘って宮崎県総合運動公園で開催された、第2回春季全日本小学生女子ソフトボール大会に出場した、三島支部のEAST・MAXは連日健闘し、見事初優勝を果たした。なお、同時出場した静岡チェリーズは惜しくも2回戦で敗退した。

EAST・MAXは初戦と2回戦は何れも完封勝利し、3回戦では愛媛県代表を6対2で退け、準々決勝では昨年優勝の長崎県代表の「佐世保ひまわり」を2対1で破り準決勝へ。準決勝では全国制覇の実績を持つ、京都府代表のホワイトビッキーズに11対3で快勝。決勝戦は愛媛県代表の宇和島チェリーズと1点を争うシーソーゲームの結果、3対2で破り静岡県小学生チームとして初の全国制覇を達成した。

EAST・MAXの優勝までの戦跡

【一回戦】

東広島プリンセス 0000000 0
静岡EAST・MAX 000201x 3

【二回戦】

山本ペガサス 0000000 0
静岡EAST・MAX 172000x 10

【三回戦】

新居浜ラビッツ 0000200 2
静岡EAST・MAX 100200x 6

【準々決勝】(8回タイ・ブレーカー)

佐世保ひまわり 00000010 1
静岡EAST・MAX 00000101x 2

【準決勝】

静岡EAST・MAX 0002306 11
ホワイトビッキーズ 0000120 3

【決勝】

宇和島チェリーズ 0010010 2
静岡EAST・MAX 002100x 3

三回表、宇和島は初安打の1本で先取点をあげた。その裏、静岡EAST・MAXは2番・外岡がレフト前ヒットで出塁。つづく3番・杉本がセンターオーバーの三塁打で同点。さらに4番・廣瀬もレフト前に弾いて逆転。その後、5番・大場、7番・太田もヒットで一死満塁と追加点のチャンスをつくったが、後続が絶たれ追加点はならなかった。四回裏、二死・二塁から4番・廣瀬がライトオーバーのエンタイトル・ツーベースで貴重な追加点をあげた。粘る宇和島も終盤の六回に1点をあげ、追い詰めたが、後一步及ばなかった。

外岡 薫 静岡EAST・MAX監督の談話

「昨年の第1回大会を経験した子どもたちが、全国大会の雰囲気慣れており、強敵揃いのゾーン(トーナメント)にも関わらず、怯むことなく普段の力を出し切ったのが最大の勝因。また、大会中は怪我人、病人も出ず体調管理が良かった事と、父母の協力と毎日の練習の準備など全ての面で素晴らしかった。昨年の2回に及ぶ全国大会出場で、各選手に自覚が出てきた事も勝因の一つ。今回の優勝に驕ることなく、広島で行われる夏の全国大会切符を手に入れるよう、一層努力をして県大会に挑みたい。」

杉本未来・主将

チーム全員が高い目標を持ち
一戦一戦全力で戦い優勝出来た。
嬉しくて、涙が止まらなかった。
夏も全国大会に出場できるよう、チーム
全員で努力していきたい。

廣瀬夏季投手・四番

1試合から緊張もせず
普段の力が出せた。投げる方も
打つ方も自信を持って出来たので、優勝
することが出来たと思う。夏の全国大会に
向けて、県予選でも一戦必勝で頑張り
出場切符を手に入れたい。



外岡 雅捕手・2番打者

三回目の全国大会落ち着いて
試合に打ち込む事が出来た。
チームのみんなに優勝したいという気持ち
が大きかったので、掴み獲れた優勝だった
これを自信にして、夏の全国大会に
向けて頑張りたい

大場 亜莉菜投手・5番打者

三回目の全国大会に出場して
いい仲間と日本一になれて最
高！
ピティングでは反省するところも
あったが、最後は仲間に助けら
れて、思い切り投げることが出
来て良かった。